

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-8_運輸交通体系の整備

基本計画		事業番号	細事業名称
4-08-01	公共交通の維持・整備	02295_01	デマンドタクシー運行事業
4-08-01	公共交通の維持・整備	07024_03	生活路線維持運行対策事業補助金
4-08-01	公共交通の維持・整備	07128_01	別子山地域バス運行事業
4-08-02	新しい移動サービスの導入	07260_01	公共交通機関等デジタル化推進事業

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	02295_01		
事業名(行目名称)		デマンドタクシー運行事業費	細事業名	デマンドタクシー運行事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	地域交通課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	バス交通空白地域、高齢者等交通弱者		数値	55000		
	手段(どうやって)	バス交通空白地域の住民や、バスを利用しづらい方を利用対象としたデマンド型乗り合いタクシーを運行する。上部地区、川東地区については、平成23年1月から平成26年9月までの試験運行を経て平成26年10月から本格運行を実施。川西地区については、令和5年3月から試験運行を実施。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	高齢者や障がい者など交通弱者の日常生活に不可欠な移動手段を提供する。また、バス交通空白地域から各都市拠点へのアクセスを確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		30,010	29,462	29,462	31,774	○報酬 1,909千円 ○職員手当等 549千円 ○共済費 435千円 ○旅費 51千円 ○負担金補助及び交付金 26,518千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	30,010	29,462	29,462	31,774		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
乗車人数(人)		目標値	20000	23000	11500	23000	23000
		実績	15880	16966	9441	18781	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
川西地区のデマンドタクシーの利用者を増やすため、乗降場所拡大について事業者と協議を続ける。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
バス交通空白地域の補完的交通手段として導入されたデマンドタクシーの需要は高く、今後も高齢化の進展により交通弱者が増加すると考えられるため川西地区においても運行を開始したが、車両の稼働率も上がってきたため更なる利用者の増加に向け事業者と協議しながら事業を進めていく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	B:事業の進め方の改善検討				
利用者は年々増加しており、交通弱者への移動手段を提供するという事業目的の達成に寄与できている。しかし、試験運行を行っている川西地区のデマンドタクシーについては、本格運行を行っている他地区に比べ先行が限定されているなど利用しづらい点があるため、事業実施主体である新居浜市地域交通活性化協議会において、利便性向上に向けた協議を行う必要がある。また、令和7年度で試験運行の最終年度となるため、本格運行に向けた検討、協議を要する。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07024_03		
事業名(行目名称)		生活路線維持運行対策費	細事業名	生活路線維持運行対策事業補助金			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	地域交通課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	お年寄りや子供等の交通弱者など		数値	66685		
	手段(どうやって)	利用者の減少等により、路線維持が困難となっているバス路線を維持するために、事業者に対して運行費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	廃止、縮小の傾向にあるバス路線を維持し、交通弱者の足を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 56,840千円	
経費		97,960	56,840	83,767	83,767		
財源	県・国支出金	16,096	13,647	14,367	14,367		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	81,864	43,193	69,400	69,400		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
路線系統維持率(%)		目標値	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	89	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりバス利用者が大幅に減少したまま大きく回復しておらず、物価高等の要因も加わって、令和2年度より補助金額の増加が続いており、運行路線の見直しが必要である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>高齢者や障がい者などのいわゆる交通弱者の交通手段を確保するためには生活路線バスの維持が必要であり、バス事業者とともに路線の見直し等の協議を始めており、収支の改善もあわせて求めていく。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	B:事業の進め方の改善検討				
<p>バス事業者への補助金支出により概ねバス路線の維持ができていますが、事業者に対しては、より効率的で市民の要望に応じた路線となるよう見直しを求める必要がある。また、近年では、事業者の人員不足により路線維持が困難な状況が生じているため、雇用確保への支援も検討する必要がある。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07128_01		
事業名(行目名称)		別子山地域バス運行費	細事業名	別子山地域バス運行事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民(地域バス利用者)		数値	114886人		
	手段(どうやって)	市民・地域住民が利用しやすい地域バスとなるよう利用者の要望を把握するなどして、運行時刻の見直しなど利用効率の改善に努めた。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市街地と別子山地域との交流を活性化し、地域住民の利便性向上、別子山地域への定住促進を図ることにより、地域の振興と福祉の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		19,841	21,868	21,868	22,187	○報償費 50千円 ○需用費 5,098千円 ○役員費 371千円 ○委託料 16,175千円 ○使用料及び賃借料 105千円 ○公課費 69千円	
財源	県・国支出金	4,400	4,400	4,400	4,923		
	地方債	10,100	10,100	10,100	10,100		
	その他	5,341	7,368	7,368	7,164		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
年間利用者数(人)		目標値	6000	6000	6000	6000	6000
		実績	4053	3,888	666	3503	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
目標値をクリアするには実績値が少ないと判断される。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地域住民の足として翌年度も事業実施できるよう予算要望していく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
別子山地域バスは新居浜市中心部への通学、買い物、観光等の移動手段となっているため、引き続き事業を継続していく。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07260_01		
事業名(行目名称)		公共交通機関等デジタル化推進事業費	細事業名	公共交通機関等デジタル化推進事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	新しい移動サービスの導入	担当課	地域交通課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	バス交通空白地域、高齢者等交通弱者		数値	32000		
	手段(どうやって)	川西地区デマンドタクシー運行事業において、アプリ予約システムやAIオンデマンド配車システムを活用したコールセンターによる予約・配車を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	デマンドタクシー運行事業における利用者、事業者双方の利便性向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 11,352千円	
経費		11,352	11,352	11,352	11,352		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	11,352	11,352	11,352	11,352		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
川西地区利用人数(人)		目標値	-	3000	1500	3000	3000
		実績	-	1135	1055	2102	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
<p>利用者の9割が70～90歳代の高齢者であり、アプリ利用の予約率は4.8%(令和6年8月)とかなり低い。デマンドタクシーの利用人数は昨年度より増えているが、アプリの導入による効果ではない。タクシー事業者からは、コールセンターからの配車指示を受けるタブレットを備えている車両をデマンドタクシーの利用者がいない時間に一般乗用に回すと、急なコールセンターからの指示が入った時に対応がしづらく、効率的な車両活用ができないという強い意見がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
<p>デジタル田園都市国家構想推進交付金を受けてこの事業を行っているが、この交付金を一部返還等をして事業を廃止することができるのであれば、廃止の方向で進めたい。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>システムを導入して2年になるが、デマンドタクシー利用者のほとんどが高齢者であることからアプリ予約システムの利用が伸びず、今後も増加が見込めないため、事業を廃止する。</p>							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				